

2022年度 福岡市民間障がい施設協議会

人材育成研修・応用行動分析学(ABA)を学ぶ

目的:

- ① 知的障がいや発達障がいのある利用者、児童生徒が示す行動問題の支援の基礎的技法となる、応用行動分析学の支援技法を演習形式で学び人材育成に繋がります。
- ② 学びを通じて連携できる関係性を構築し、利用者、児童生徒の生活の質向上に寄与できる取り組みに繋がります。
- ③ 学生とともに学ぶ中で障がい福祉、特別支援教育に興味関心を持っていただき、人材確保・育成に繋がります。

内容: 福岡市の行動支援研修の内容に関わる応用行動分析の知識（理論）・技法等の講義及び演習を受講生が行う。演習内容についてはSVとともに講義及び演習内容を検討する。

研修構成: 1回の勉強会の時間 105 分、トータル6回の勉強会を実施する。

対象者: 障がい福祉事業所、学校教員、学生

定員: 50 名 ※体系的研修のため、全受講参加が基本となります。

形態: 対面研修（場所：ふくふくプラザ 福岡市中央区荒戸3-3-39）
※コロナ禍によりオンライン研修（ZOOM 使用）に移行する場合あり。

開催日時: 2022 年 5 月から 2023 年 3 月までの第2または第3水曜の 18:45~20:30

参考書籍: 随時紹介します。

研修構成企画: 倉光晃子氏（西南学院大学）

講師・話題提供者: 福岡市内事業所職員（5名）

事務局: 民間協担当 若久緑園・中村 ももち福祉プラザ・平井（連絡先：t.hirai01@fc-jigyoudan.org）

研修計画

	開催月日	研修室	内容	講師
1	5月18日 (水)	601 研修室	効果測定（事前テスト） 行動分析学とは、行動の定義、三項随伴性	中村友彰
2	7月20日 (水)	601 研修室	強化の原理（好子） 強化の技法	森岡元樹（中央区障がい者 基幹相談支援センター）
3	8月17日 (水)	601 研修室	弱化的原理（嫌子） 消去の原理	鬼塚康宏（若久緑園）
4	10月	未定	行動形成（シェイピング） プロンプト	新郷拓也（かーむ）
5	12月	未定	行動連鎖 課題分析 チェイニング	新郷拓也（かーむ）
6	2月	未定	記録のつけ方 グラフの書き方	富永裕輔（なごみ）